

【相手先企業】 だるま食品株式会社

【 目 的 】

水戸納豆は今や全国ブランドとなっていますが、茨城県内では明治から昭和 30 年前後には納豆に適した小粒大豆が数多く作られていました。

当時作られていた品種のほとんどが現在では使用されなくなりましたが、昭和 14 年に茨城県立農事試験場（現在は県農業総合センター）で育成された往年の名品種のひとつである「農林1号」を使った商品を開発することになりました。

この商品開発事業は、水戸納豆の原点を顧みることにより、水戸納豆の消費拡大とブランド定着につなげることを目的としています。

【 内 容 】

農林1号は県推奨品種の「納豆小粒」に比べて、粒がやや大きく、納豆の味が濃く、皮が薄くやわらかいのが特徴で、この特徴を生かした提案を以下により行いました。

- ① 商標ネーミング・キャッチコピー制作
- ② 包装容器の設計・グラフィックデザイン
- ③ 商品デザインのアンケート調査・考察

商品名は「伝承納豆」とし、キャッチコピーを「古品種大豆農林1号復活」とし、グラフィックデザインはお土産品としての用途から和風の絵柄とし、パッケージは紙製により環境に配慮しました。

【 結 果 】

H20年4月に商品化され、「わらつど」が22,000本、「パック」が15,000個の売り上げがあります。販売先は、JA水戸直売所はじめ、常磐高速道路SA売店、西武百貨店池袋店、イトーヨーカドー一部店舗で販売されています。

伝承納豆は、茨城県産大豆を使った水戸納豆（うまいもんどころ許可第9号）として、いばらきハサップ認定1号としても安心できる商品となりました。販売は農林1号の栽培数から限定生産となりますが、安全で美味しい水戸納豆として消費者へアピールできる商品としても期待が持たれます。



伝承納豆

左上：茨城県産納豆用農林1号

左下：量販店用パック 40g×2ヶ

価格：158円（税込み）

右：高速SA用わらつど70g×2ヶ

価格：525円（税込み）

基礎となった事業 平成19年度 オンリーワン技術開発支援事業（受託研究）

現在の担当部門 工芸技術部門 部門長 佐藤 茂 TEL：0296-72-0316